

報道関係者各位

2008年7月9日
森ビル株式会社

地球環境と水資源の大切さを学ぶ、夏休み自由研究の応援企画 水の日(8/1)にあわせ「六本木ヒルズの水の“ヒミツ” 探検ツアー」を開催

森ビル株式会社(東京都港区 代表取締役社長 森 稔)は、「環境」をテーマに、六本木ヒルズの裏側にある、雨水・排水を有効活用するための最新設備を探検しながら水資源の大切さを学ぶ、小学生を対象とした体験学習イベント「六本木ヒルズ“水のヒミツ”探検ツアー」を7月31日と8月1日の2日間、開催いたします。

8月1日は、水資源の有限性や重要性を考える「水の日()」として制定されています。六本木ヒルズでは都市再開発におけるスケールメリットを生かし、雨水や排水のろ過処理等による水の有効活用を推進しており、年間で約28万トン(お風呂150万杯分程度)の節水効果を実現しています。当社では「水の日」にあわせ、これらの取り組みや最新設備の見学を通じて、子どもたちが都市生活における水資源の有限性や貴重さを楽しみながら学ぶ機会となるよう、本ツアーを企画しました。



雨水を利用している冷却装置の冷却水を触って
温度の変化(冷却効果)を確認



中水プラントのろ過設備を見学して、
その機能を勉強

今回のツアーでは、通常は立ち入ることのできない六本木ヒルズの舞台裏に子どもたちが特別潜入し、雨水を有効活用する冷却装置や、中水生成のためのろ過施設など、水を有効活用するための設備や取り組みを探検ツアー形式で見学します。また、子どもたちがペットボトル容器や砂など身近な材料を使って簡易型のろ過装置を作り、実際にろ過作業を体験するワークショップも実施いたします。

当社では、街づくりのミッションに「環境」「安全」「文化」という3つのテーマを掲げています。今回のプログラムは、夏休みという長期休暇を利用し、街づくりにおける取り組みにより蓄積された豊富なノウハウや先進設備を社会に還元して、地域住民や子どもたちと共に学びながら快適な都市生活のあり方を考えていく機会として実施するものです。なお、今期(夏休み期間中)は、「環境」をテーマとした今回のツアーのほか、「安全」「文化」をテーマとした体験企画も実施する予定です。

「六本木ヒルズの水の“ヒミツ”探検ツアー」実施概要

- 開催場所 六本木ヒルズ（東京都港区六本木 6-1-10）
- 開催日時 2008年7月31日（木）8月1日（金）
10時00分～12時00分（両日共通）
- 参加対象者 各回 親子10組×2日間
（対象年齢：小学生4～6年生、原則として保護者同伴）
- 参加費 無料
- 申込み方法 7月14日より下記WebサイトまたはFAX(03-6406-9306)にて受付。
締め切りは7月24日正午。
<http://www.mori.co.jp> 内専用ページ
（トップページのリンクよりアクセスしていただけます）
FAX申込の場合は、お名前（お子様・保護者）、お子様の性別・学年、ご住所、お電話番号を明記してFAX送付下さい。
応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

内容（予定）

水資源の大切さを学ぶ（レクチャー）

オリジナルのワークシートを使い、地球全体の水の量や、六本木ヒルズでの水の利用量、節水の取り組みなどの説明から、都市生活における水資源の大切さを学習。

六本木ヒルズの舞台裏を探検（水処理施設を見学）

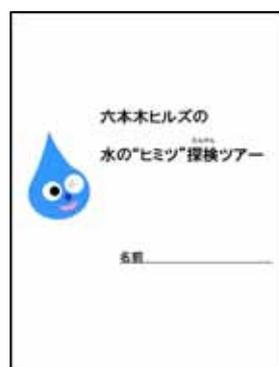
雨水を有効活用するための冷却装置や、六本木ヒルズ内のトイレ洗浄水として利用する中水を生成するためのろ過施設を実際に見学しながら、各機能の説明と節水効果を紹介。（協力：（株）荏原製作所）

毛利庭園で簡易ろ過装置づくりに挑戦（ワークショップ）

ペットボトルや毛糸・砂・小石などを使用して、子どもたちが簡易ろ過装置を作成するワークショップを開催。毛利庭園の池の水などを使用し、「水をきれいにする仕組み」について学ぶ。

「ドライミスト」の涼しさを体感（次世代省エネ型冷却装置見学）

水を使った次世代の取り組みとして、「ドライミスト」を見学。エアコンの1/30という消費電力量で得られる涼しさを体感し、その温度変化をサーモグラフで撮影。（協力：清水建設（株）・能美防災（株））



昨年使用した
ワークシート（一部）

水の日とは

年間を通じて水の使用量が最も多くなる8月上旬の時期に合わせて、「水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を深める」ことを目的に、1977年5月の閣議了解により毎年8月1日を「水の日」として制定。「水の日」には、水資源に関する各種の啓発行事を国、地方公共団体及び関係諸団体が連携して実施している。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深野・一木

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

当日取材および掲載写真等については、お手数ですが、上記連絡先までお問合せ下さい。